

どくしょかんぞうぶん
読書感想文、なにを読もうかまよったら・・・



本のだいめい	かいた人	しゅつばんしゃ 出版社
?が!に変わるとき 新聞記者、ワクワクする	小国綾子/著	汐文社
おれ、よびだしになる	中川ひろたか/文 石川えりこ/絵	アリス館
かみさまにあいたい	当原珠樹/作 酒井以/絵	ポプラ社
イレーナ・センドラー ホロコーストの子ども達の母	平井美帆/著	汐文社
おにいちゃんとぼく	ローレンス・シメル/文 ファン・カミーロ・マヨルガ/絵 宇野和美/訳	光村教育図書
おおきなきがほしい	さとうさとる/ぶん むらかみ つとむ/え	偕成社
パヤタスに降る星	山口千恵子/文 葉祥明/絵	中央法規出版
ジュニア空想科学読本 [1]	柳田理科雄/著 藤嶋マル/絵	メディアファクトリー
大きい1年生と小さな2年生	ふるたたるひ/さく なかやままみ/え	偕成社
びりっかすの神さま	おかだじゅん/さく え	偕成社
ながいながいペンギンの話	いぬいとみこ/さく やまださぶろう/え	理論社
エリコの丘から	E・L・カニグズバーグ/著 岡本浜江/訳	佑学社
じしゃくのふしぎ	フランクリン・M・ブランリー/さく トゥルー・ケリー/え かなもりじゅんじろう/やく	福音館書店
アンデルセンのおはなし	スティーブン・コリン/英語訳 エドワード・アーディゾーニ/選・絵 江國香織/訳	のら書店
レイン 雨を抱きしめて	アン・M・アーティン/作 西本かおる/訳	小峰書店
シロナガスクジラより大きいものっているの?	ロバート・E・ウェルズ/さく せなあやこ/やく	評論社

ふじみしりつちゅうおうとしょかん
富士見市立中央図書館 おすすめのほん

ほんのくに たんけん

2020ねん



「ほんのくにたんけん」ってなあに?

読書感想文におすすめの本、夏休みにぜひ読んでほしい本を、選びました。新しい本から、長い間読み続けられている本まで、たくさん本をしょうかいしています。なにを読もうかな?と、まよった時のヒントにしてね。

『かあちゃんえほんよんで』



かさいまり/文

北村裕花/絵

絵本塾出版

となりのまこちゃんがお母さんに絵本を読んでもらえと聞いて、ちょっとうらやましいけんたくん。「えほんよんで」って言いたいけど、忙しいお母さんを見ているとなかなか言えない。お母さんにえほんを読んでもらうために、けんたくんはどうするのか? (低学年向け)

2020年7月 編集・発行：富士見市立図書館

ちゅうおうとしょかん
中央図書館：049-252-5825

つるせにしぶんかん
鶴瀬西分館：049-252-5945

ふじみのぶんかん
ふじみ野分館：049-256-8860





『日小見不思議草紙』

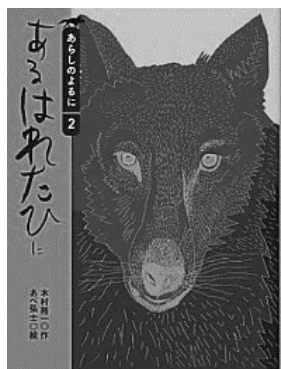
藤重ヒカル／作

飯野和好／絵

偕成社

一面のタンポポの中、六平太は剣術の稽古をしていた。6歳の藩主忠明公のお側役に選ばれたいからだ。タンポポの中から現れた、不思議なサルがあたえてくれた古い刀にはある力があつた。古い刀が示した力とは、静かで古い町、日小見町で起こった不思議な出来事。知られることなく消えていった、5つの物語。

(中学年向け)



『あるはれたひに』

木村裕一／作

あべ弘士／絵

講談社

じぶんの大好物とおともだちになったら？ わたしはケーキをたべずにがまんできるかしら？とかんがえた。でもやっぱり友だちっていいなと、心がほっこりしていく。そして友だちがほしくなる。会いたくなる。話したくなる。オオカミみたいな友だちに出会えるといいな。シリーズ本もたくさんあるのでぜひ読んでみてね。

(低学年向け)



『ツー・ステップス!』

梨屋アリエ／作

菅野由貴子／絵

岩崎書店

この本は、仲間はずれにされるのが怖い、一人の小学生の物語だ。この本を読んだ人は、主人公と自分を重ねてしまうかもしれない。なぜなら多くの人は、仲間はずれをとて怖がるからだ。その意味で、この本は主人公だけでなく、たくさんの人が抱える苦しさや温かさの物語ともいえる。

(中学年向け)



『マイナス・ヒーロー』

落合由佳／著

講談社

大会では準優勝ばかりで「シルバー・ヒーロー」と揶揄されるバドミントン部の羽野海に、ある日体育の授業でダブルスを組まれた久能凧人。凧人は一度バドミントンの道をあきらめた過去があつた。そんな凧人に海は、「アドバイザーになって、勝たせてほしい」とお願いする。半ば無理やりではあつたが、バドミントン部のマネージャーとなった凧人は、海を優勝へ導くことができるのか――。

(高学年向け)



『しあわせなハリネズミ』

藤野恵美／作

小沢さかえ／絵

講談社

友だちはいないけれど、一人でも平気なハリネズミは、いつも思ったことを、そのまま口に出してしまつて……。背中ハリだけでなく、言葉もチクチクしている。ある日、「食べられないし、なんの役にも立たない」どろだんごを作っているもぐらくんと出会い、心が変化していく。「こんな気持ちになるなら～しなればよかった」と、何度も落ちこみながら成長していくハリネズミくん。応援したくなるよ。

(中学年向け)



『伝統アート 匠の技、さえる!』

日本文化キャラクター図鑑

本木洋子／文

山田タクヒロ／絵 玉川大学出版部

日本文化というとカタいイメージがあるが、湯たんぽという言葉はご存じだろうか？これも昔からある道具だが、現在も一般家庭で使用されている。この本では芸能だけでなく、そうした身近な道具にもかわいいイラスト付きでスポットライトを当てている。

(高学年向け)